

回転放電方式発生体採用

SAPA オゾン脱臭装置設置例

YS1000-2000 シリーズ

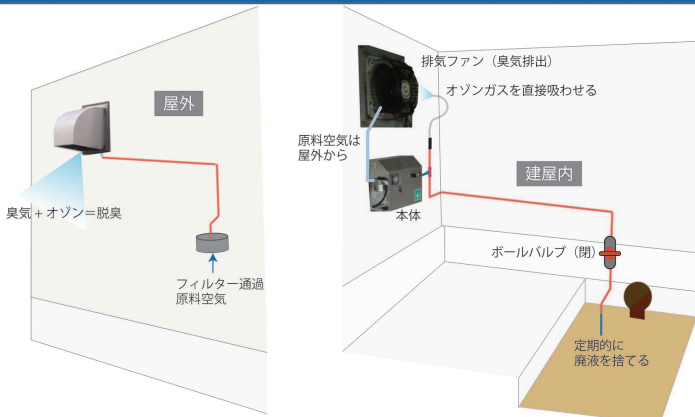


■ YSくりん YS1000-OZF (S)



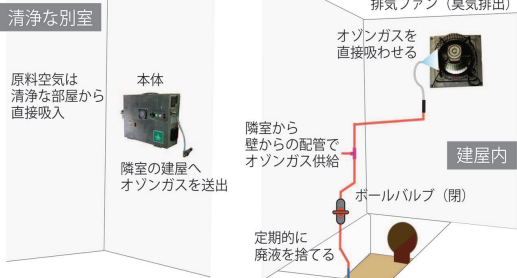
■ YSくりん YS2000-OZF (S)-T
YS1000-OZF(S)-T

■ 浄化槽前処理施設建屋等から換気扇排気により放たれる悪臭の脱臭・建屋周辺の悪臭対策例



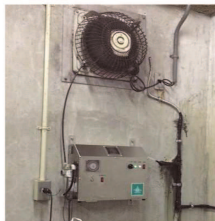
オゾン脱臭機で生成したオゾン換気扇に直接吸わせて、悪臭をオゾンガスが換気扇内で脱臭し、外部に放出される時点でほとんど臭わない状況を作り出します。この場合、オゾン脱臭機は建屋内に設置しますがオゾン生成するための空気は配管して外部から取り入れます。建屋内は硫黄系やアンモニア系のガスが充満しているため、建屋内のオゾン濃度が上昇することは考え難いですが、万全を期すためにオゾン濃度センサーを入室時だけ作動させることも可能です。

清浄な隣室が有る場合の設置例



清浄な機械室等の隣室がある場合は、機器を隣室に設置して、オゾン进行浄化槽前処理施設建屋内等の換気扇に直接吸わせるように配管します。

また、どちらの場合もオゾンガスが充満したガスや空気に触れた場合や配管内部でも湿気を吸い液状になった硝酸アンモニウム溶液(塩水)が配管内部に溜まらないようにするためにボールバルブを設置して廃液を定期的に捨てることも必須となります。



YS1000-OZFS 設置



YS1000-OZFS 廃液配管



1次フィルター屋外設置



YS2000-OZFS 設置



YS2000-OZFS オゾン換気扇吸引



廃液配管ボールバルブ



YS2000-OZF-T 隣室設置

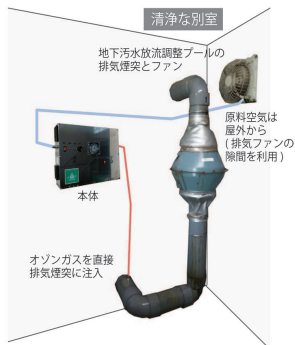
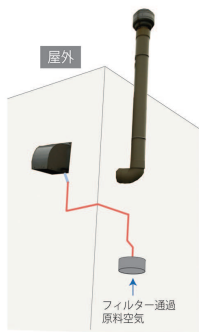


オゾン配管例・隣室より換気扇吸引



換気扇吸引例

■下水放流調整槽内の汚水を曝気した臭気やガスを煙突から放出した時の脱臭・煙突周辺の悪臭対策例



下水放流調整槽内の汚水の沈殿を防ぐために曝気したときに発生する硫黄系・アンモニア系ガスを機械室等に設置された煙突から放出したときの設置例です。ガスを煙突に送る配管内にオゾンガスを注入することにより配管内で悪臭をオゾンガスが脱臭して、煙突から放出する時点でほとんど臭わない状況を作り出します。

この場合も機械室等の状況にもよりますが、オゾンガスを生成するための空気は配管して外部から取り入れた方がよいと思われます。この対策では、オゾンガスを直接配管内に送り込むためにオゾンガス濃度センサーは必要ありません。



YS1000-OZF-T 設置例



YS1000-OZF-T 設置例



オゾン配管注入例



YS2000-OZF-T 設置例



1次フィルター屋外設置例



1次フィルター



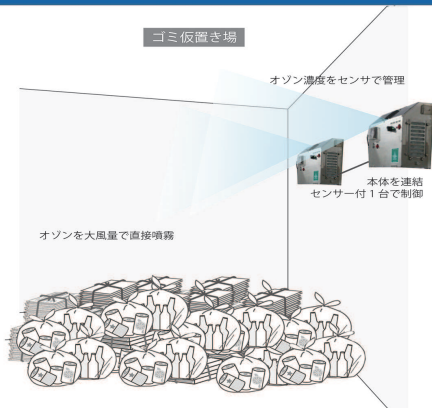
2次フィルター

■ ゴミの置き場や浄化槽前処理施設建屋内等の脱臭・建屋内部の悪臭対策例

ゴミの置き場や建屋内の脱臭を行う場合には、オゾン濃度センサーによるオゾン濃度の自動制御が必須となります。

原則としてオゾン濃度は 0.1ppm 以内になるように設定されるため人の出入りが可能となります。

また、普段はオゾン濃度センサーを OFF に設定して置いて、水質調査等で入室する場合だけオゾン濃度センサーを ON にする使用方法も有効です。



YS1000-OZFS 設置例



YS1000-OZFS 設置例



臭気測定

■ オゾン脱臭装置 YS1000/2000 シリーズメンテナンスについて

- YS1000/2000 シリーズは、回転放電方式の発生体を使用しているために固定放電方式の発生体に比べて、メンテナンス頻度が少なく済むことが特長です。
- YS1000/2000 シリーズは、PSA(酸素濃縮装置)を使用していないためにリーズナブルな価格でご使用いただけます。
- YS1000/2000 シリーズは、未永く安定して運用していただくために年に 1 度(特に臭気が少ない冬季)の定期メンテナンスをお勧めします。